

季節によっては霧が凄いため、
一瞬で海岸が見えなくなる時も



99段の螺旋階段を登りきると目の前に
太平洋と荒波に削られた太古の時代



のぼれる灯台の中で
初日の出が
1番早い



夕焼け空にピンクに
染まる灯台
大切な人と大切な時間を



犬吠埼灯台

重要文化財

いぬぼうさきとうだい

犬吠埼灯台

INUBO SAKI Lighthouse

アクセス

- ☆ 鉄 道：銚子電鉄 → 銚子駅～犬吠駅下車
徒歩約10分
- ☆ バ ス：京成バス・千葉交通バス→
東京駅八重洲口～犬吠埼下車
(約2時間30分)、徒歩約5分
- ☆ 自動車：東関東自動車道大栄IC～県道70号、
国道126号、県道286号・254号経由
約1時間

参観時間

3月～9月 8:30 ～ 17:00
(GW、8/10～19日 8:30～17:30)
10月～2月 8:30 ～ 16:00



悪天候の際は、のぼれない場合も
ございますのでご了承ください。
日々の参観状況につきましては、
当会HPをご覧ください。

<https://www.tokokai.org/tourlight/tourlight03/>

参観寄付金

大人 300円 (中学生以上)
小学生以下及び障がい者 (介助が必要な方は、
介助者1人まで) の方はいただきません

燈光会 犬吠埼支所

〒288-0012
千葉県銚子市犬吠埼9576
TEL : 0479-25-8239 (FAX兼)



のぼれる灯台16の一つ
大海原拓がる
世界100選の灯台

資料展示室

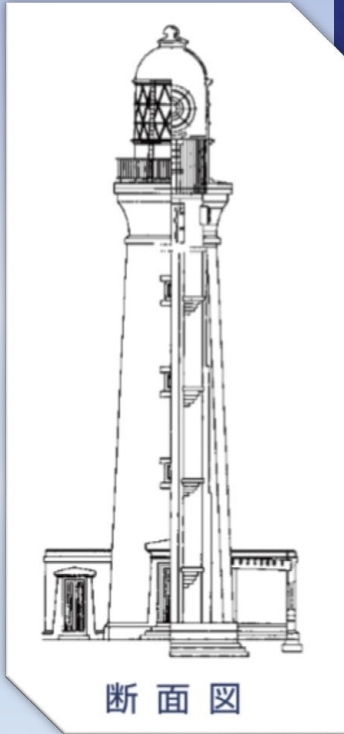
～貴重な展示品をご覧ください～



沖ノ島灯台初代レンズ
「第一等3面フレネル式せん光レンズ」
国産第1号の一等レンズ
片面は1面、片面は2面と珍しい設計



旧犬吠埼霧信号所霧笛舎
2014年 登録有形文化財に登録
2020年 重要文化財に指定



断面図

【この灯台の概要】

位置:北緯 35度42分28秒 東経 140度52分07秒

光り方:単せん白光 15秒に1回発光

(沖合の船舶から灯台を見た場合、回転するレンズから放たれる光を15秒ごとに見ることができます)

光の強さ:1,100,000カンデラ

(「カンデラ」とは、光源の強さを表す単位です)

光の届く距離:19.5海里(約36キロメートルです。1海里は1,852メートルです)

高さ:灯台の基礎部から灯台の頂部まで、31メートル

レンズ:第一等大型4面フレネル式せん光レンズ

(複数のプリズムを組み合わせることにより軽量化されたレンズで、「フレネル」とは、フランス人開発者のフレネル氏の名前です)



犬吠埼灯台初代レンズ
「第一等8面フレネル式せん光レンズ」
明治天皇皇后陛下にご覧いただきました

犬吠埼灯台の歴史

明治7(1874)年11月15日初点。

犬吠埼灯台は、明治政府がイギリスから招へいた灯台技師、リチャード・ヘンリー・ブラントン設計、監督により建設されました。

そして、当時の灯台寮技師が苦心して国産化を成功させたレンガ19万3千枚が使われ、百余年の歳月に耐え現在にいたっております。また、灯台のレンズは、フランス製の8面せん光レンズでしたが太平洋戦争で一部破壊されたため、現在は、我が国で製作した一等4面レンズです。

犬吠埼灯台の螺旋階段は、99段です。九十九里浜にちなんで設計したと伝えられています。

2020年12月23日、技術的に優秀であり、歴史的価値の高いものとして、現役灯台では初めて重要文化財に指定されました。

